



週間情報



No.2922

発行日 平成29年6月13日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画課 03(3234)1321

両会の動き

◆ 法制執務研修会を開催

全国消防長会

平成29年6月8日（木）、北海道札幌市（プレミアムホテル中島公園札幌）において、北海道支部の協力のもと、同支部内で渉外を担当している職員等に対し、消防本部内のリスク管理やコンプライアンスの充実を図るため、全国消防長会顧問弁護士である木下健治氏を講師に迎え、法制執務研修会を開催しました。

研修会では、「消防関係判例100」及び「消防行政相談事例集」（一般財団法人全国消防協会発行）を用いて、災害活動業務、指令業務、予防業務、さらには情報公開やパワーハラスメントに関する判例等について講義していただきました。

当日は30消防本部50名の消防職員が参加しました。また、研修会の後には、全国消防保険サービス株式会社から消防職員賠償責任保険等についての説明も併せて実施しました。

今後も本研修会を実施したい支部や都道府県消防長会がありましたら、各支部を通じて事務局あてに申請してください。



【研修会の様子】

消防本部の動き

訓練・演習

◆ 解体予定建物を使用した各種災害対応訓練を実施

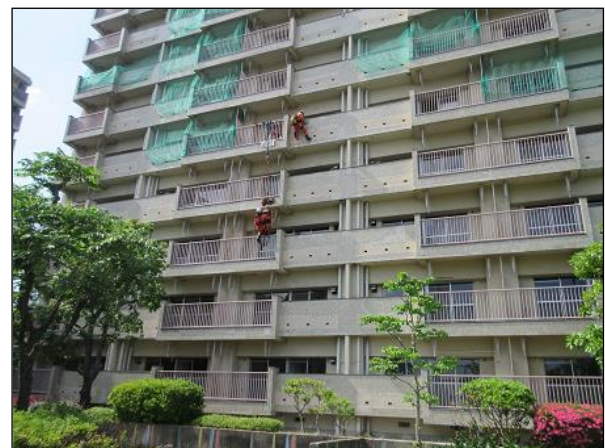
豊中市消防局（大阪）

豊中市消防局では、平成29年5月15日（月）から31日（水）まで、独立行政法人都市再生機構の協力のもと、解体予定建物を使用した各種災害対応訓練を実施しました。

この訓練は、低層階及び高層階における様々な災害を想定し訓練を実施することにより、火災防御及び救助技術の向上を図るとともに、消防用設備を活用した火災防御活動の習熟を目的に実施しました。



【放水訓練の様子】



【救助訓練の様子】

◆ ラフティングボート操船訓練を実施

郡上中消防署南出張所では、平成29年5月22日（月）、管内の長良川において、高山市消防本部及び福井県大野市消防本部と合同で、ラフティングボート操船訓練を実施しました。

当日は、ラフティング会社「アースシップ」でツアーガイドを行っているプロの方の指導のもと、パドル操作で流れに対して45度（フェリーアングル）の角度での移動要領について訓練を実施しました。また、川を下りながら岩の下流側にできる比較的流れの穏やかな場所（エディ）をキャッチする訓練も行い、操作技術の習得とボートの機動性を確認することができました。

郡上市消防本部（岐阜）



【訓練の様子】

◆ 林野火災合同訓練を実施

小樽市消防本部では、平成29年5月23日（火）、小樽市望洋シャンツェにおいて、平成29年度林野火災合同訓練を実施しました。

この訓練は、林野火災が異常乾燥と強風により、分散拡大しているとの想定で、消防本部、消防団、各関係機関が連携し、効率的な避難誘導、的確な火災防御技術の向上などを目的として実施しました。

林野火災は発生場所や気象条件などにより被害の拡大が予想されるため、今後もこの訓練の経験を生かし、林野火災の早期消火、被害の軽減を図っていきます。

小樽市消防本部（北海道）



【訓練の様子】

◆ 市内河川を利用した揚水訓練の実施

八尾市消防本部では、平成29年5月27日（土）、市内を流れる玉串川に設置された河川堰（防災ゲート）を作動させ、ポンプ車による揚水及び放水訓練を実施しました。

また、地元消防団及び自主防災組織と合同で、可搬ポンプ取扱訓練を実施し、地域防災力の向上に努めました。

大規模地震発生時には、水道管の破断により消火栓が使用できない場合も想定されるため、今回の訓練で多様な水利の有効性を再確認することができました。

八尾市消防本部（大阪）



【河川堰の様子】



【揚水及び放水訓練の様子】

◆ 小中学校合同地域防災訓練を実施

直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部（福岡）

直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部では、平成29年5月30日（火）、福岡県警察本部と合同で、自主防災会・宮若西小中学校合同地域防災訓練を実施しました。

災害に強いまちづくりを目的として、宮若西小中学校の生徒をはじめ多くの地域住民が参加し、総勢980名に上る大規模な訓練となりました。

訓練では「午前9時29分に、緊急地震速報の鳴動により、脇田地区西山付近深さ10kmを震源とするマグニチュード7.6の地震が発生した。」との想定で避難誘導、濃煙体験等を実施しました。また、訓練披露では火災防御訓練や救助活動訓練のほか、県警へりと合同で救出活動訓練を実施しました。

地域住民と地元小中学生、消防本部、警察本部、消防団、市役所が一体となり連携した防災訓練は、災害に強いまちづくりの大きな一歩となりました。



【訓練の様子】

◆ 事業所と合同で消防訓練の実施

桑名市消防本部（三重）

桑名市消防本部では、平成29年6月2日（金）、平成29年度危険物安全週間に先立ち、株式会社ADEKA三重工場において、事業所と合同消防訓練を実施しました。

訓練は、事業所の危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発を推進することによる自主保安体制の確立を目的として、総勢289名で実施しました。

今後も事業所と合同で訓練を実施することで、より一層の火災予防の向上が図れるように努めてまいります。



【訓練の様子】

研 修 等

◆ 岐阜県高速道路等消防連絡協議会研修会を開催

大垣消防組合消防本部（岐阜）

岐阜県高速道路等消防連絡協議会では、平成29年5月25日（木）、中津川市東美濃ふれあいセンターにおいて、公益財団法人原子力安全研究協会放射線災害医療研究所副所長で元東京消防庁の高野甲子雄氏を講師に招き「消防は常に守りの先頭に立て ー決断できる人にー」と題して研修会を開催しました。

岐阜県内の高速道路を管轄する消防、警察、中日本高速道路株式会社から約120人が参加し、講師からホテルニュージャパン火災の経験に基づく初動体制の重要性、東日本大震災を教訓とした現場リーダーの初動の心得等について実務的な話をしていただいたことで、多くのことを学ぶことができました。

今回の研修で学んだことを、今後、現場リーダーの育成に生かしていきます。



【研修会の様子】

◆ 「拠点機能形成車」配備に伴い説明会を実施

前橋市消防局（群馬）

前橋市消防局では、平成29年5月30日（火）、緊急消防援助隊群馬県大隊後方支援小隊員を対象に、昨年度末に総務省消防庁から配備された「拠点機能形成車」の説明会を実施しました。

説明会は、群馬県大隊の後方支援中隊が共通認識のもと後方支援活動を一体的に展開していくため、拠点機能形成車の基本的な操作要領や後方支援資機材の活用方法等について理解することを目的に実施しました。

当日は、県内消防本部の後方支援小隊員26名が参加するとともに、群馬県からも3名の職員が参加し、配備された車両と資機材の取り扱いについて理解を深めました。

今後は、活動要領の策定に向けた検討や、県内に配備されている無償使用車両等を集めての合同訓練の実施など、継続的に研究を進めてまいります。



【説明会の様子】

◆ 危険物・火薬類安全担当者講習会を実施

川崎市消防局（神奈川）

川崎市消防局では、平成29年6月5日（月）、市内の危険物保有事業所の安全管理・設備保全担当者及び火薬類施設関係者に対し、防火防災対策に係る実務講習会を実施しました。

昨年までは、「危険物安全担当者講習会」という名称で実施していたところですが、今年は、火薬類危害予防週間（平成29年6月10日から6月16日まで）に因み、また、平成29年度より市へ移譲された火薬類取締法に係る安全啓発も兼ね、当講習会の名称を「危険物・火薬類安全担当者講習会」と改め開催することとしました。

講習会には、事業所関係者及び消防局各消防署の危険物担当者等あわせて135名が参加しました。当市消防局日迫予防部長からの開催のあいさつ後、公益財団法人総合安全工学研究所の中村事業部長から「爆発事故事例の学び方と化学プラントの安全管理」と題した講演が行われました。その後、当市消防局職員より「高圧ガス保安法の権限移譲について」、「最近の危険物規制に係る動向について」、「危険物施設の事故事例等について」、「異常現象の迅速な通報について」のほか、今回初めて「火薬類の安全管理について」の講習を行いました。

熱心にメモをとる参加者の姿も多くみられ、「危険物・火薬類施設等での災害を防ぎたい！！」という危険物・火薬類施設関係者の防火防災意識の高さが感じられました。

また、川崎市消防局のエントランスには危険物・火薬類関係の展示もあり、講習会の参加者は興味深く見ていました。



【講習会の様子】



【エントランスの様子】

そ の 他

◆ 消防本部・消防署新庁舎が完成

峡北広域行政事務組合消防本部（山梨）

峡北広域行政事務組合消防本部では、隣接地に建設を進めていた消防本部・韮崎消防署新庁舎が完成し、平成29年5月18日（木）から運用を開始しました。

新庁舎は、防災拠点としての機能性・安全性を高めるため、出動動線や訓練スペースと来庁者のアプローチ動線を明確に分離しました。また、緊急車両の出入口は敷地南及び西側の2方向を確保し、災害時の道路被害状況に柔軟に対応できるものとなりました。さらに災害拠点施設として機能するよう、1階は鉄筋コンクリート造、2階は車庫をまたぐ架構の外周部にブレースを配した鉄骨造とし、地震に対し十分な剛性及び耐力を確保しました。そのほかにも、大地震後のライフラインの途絶えに備え、72時間（3日間）の継続運転を可能とする自家発電装置を備えました。

この庁舎が持つ優れた機能を有効に活用し、職員一丸となって地域住民の負託に応えてまいります。



【新庁舎の様子】

◆ 泉州南危険物安全推進大会を開催

泉州南消防組合泉州南広域消防本部（大阪）

泉州南広域消防本部では、平成29年6月5日（月）、管内の3火災予防協会（泉南市火災予防協会、阪南岬火災予防協会、泉佐野市火災予防協会）と協力し、危険物施設の保安の確保を図るため「第5回危険物安全推進大会」を開催しました。

大会では、泉州南消防組合の管理者、消防長及び各火災予防協会会長から優良危険物関係事業所への表彰が行われました。また、防災工房 保安防災アドバイザーの東野郁夫氏による「近年の危険物災害 今、何をすべきか」の講演には、管内38事業所90人が参加しました。

消防本部及び各火災予防協会では、今後も危険物に係る事故防止対策の推進を図るため、様々な取り組みを行っていきます。



【表彰の様子】



【講演会の様子】

◆ 第72回国民体育大会「愛顔つなぐえひめ国体」等関連施設の立入検査を実施

松山市消防局（愛媛）

松山市消防局では、平成29年6月5日（月）、今年開催予定の第72回国民体育大会「愛顔つなぐえひめ国体」と第17回全国障害者スポーツ大会「愛顔つなぐえひめ大会」に向けて、愛媛の玄関口である松山空港のターミナルビルと航空機給油取扱所の立入検査を実施しました。

大会が安全で円滑に運営できるよう、また、来県される多くの方々が安全で安心して大会を楽しんでいただけるよう、9月末までに市内の競技会場25施設、宿泊施設234施設、交通拠点施設7施設の立入検査を実施します。危険物施設は、危険物安全週間を強化週間とし、計66施設の立入検査を実施しました。

安全安心に万全を期して、おもてなしの心で皆様のご来県をお待ちしています。是非、愛媛へお越しください。



【検査の様子】

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

週間情報への投稿は企画課へ！

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail : weekly@fcaj.gr.jp